

# 鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.12(2024. 7 月)

## 社会科同好会編③ 東京ジャーミイ見学

7月20日(土)午後、生徒5名(1学年2名・2学年3名)、+社会科教員4名で、日本最大級のイスラム教モスクである「東京ジャーミイ」(代々木上原駅から徒歩5分)を訪問しました。案内人の下山茂さんから、チューリップの伝播やアラビア数字の発明など、イスラム文化についてのお話を聞いたあと、礼拝の様子を見学しました。併設のカフェや売店、書籍販売コーナーなど、礼拝所以外の見どころもたくさんある現在の東京ジャーミイ(2000年建造)ですが、初代の礼拝堂はロシア革命を逃れて日本に避難してきたトルコ人によって作られたそうです。



上下長袖+スカーフです

以下、生徒の感想を紹介します。

- ◆イスラム教はあまり身近に感じる機会が少なかったけれど今回東京ジャーミイに行ってみて、数字の話や建物のお話を聞いて案外身近にあるんだなと思った。自分が知らないことをたくさん知ることができてイスラム教に興味を持ついい機会だった。女性に対して宗教の内容が厳しいような話をニュースや新聞で目にするから、イスラム教の女性がそのことに対してどう思っているのか知ってみたい。
- ◆代々木の町の中にいきなりあの建物が現れるのは何か異世界のようなものを感じました。建物は外も中もきれいで感動しました。儀式は途中で帰る人とかがいてイスラム教はもっと厳かな宗教だと思っていたけど意外と適当なんだなと思いました(いい意味で)。トイレがあるところはお清め所となっていて足を洗うところやシャワーと一緒にありました。普通のトイレにはないので面白いと思いました。トルコアイスが美味しかったです。
- ◆イスラム教は学校で習った以外で学ぶ機会がなかったので、実際に礼拝してるとことか見てすごいと思った。肌を見せないようにスカーフ着けたりしたけど、実際に着けてみて暑い大変だと思った。礼拝してるのを見て子供とかがやってたけど見て真似してるのを見て強制していないところとか良いと思った。チューリップや西洋数字のように身近にあるものが今回のイスラム教と関連しているのにびっくりした。中のつくりも綺麗で、窓や机が現地から持って来たのは何かすごいと思った。トルコアイス美味しかった。楽しかった。
- ◆東京ジャーミイの設計に携わった宗教建築家さんがいることにまず驚いた。日本では宗教関連への関心も薄いから宗教建築家という言葉があることさえ初めて知った。その方のこだわりも強く感じられた。特に面白いと思ったのは窓で、日本ではまず見ない縦に降りてくる窓だった。また、ヨーロッパでチューリップが盛んだということは知っていたがそれが品種改良であり、オリジナルはイスラム教？にあったことにとっても驚かされた。礼拝堂ではスカーフの巻き方を学んだ。普段スカーフを着けることも巻くこともしないのでとても新鮮な経験になった。礼拝堂の手前で結婚の写真を撮っている珍しい場に立ち会うことが出来て嬉しかった。衣装がとても華やかで煌びやかだった。また、礼拝堂の中ではこれまた珍しい入信式を見ることが出来た。入信の書類には顔写真もあり、大きな免許証のように見えた。デザートを食べてみたが、周りの蜜？のようなものがとても甘く、連続で食べるのは厳しいと思った。食感自体はレーズンのようなものだったが中に入っている種が細長く大きかった。甘くないお茶などと合わせるとちょうどいいと思う。今回も様々な貴重な経験が出来て良かった。